

NPO法人青少年自立援助センター 北斗寮における実地研修の報告

社会福祉法人知多市社会福祉協議会

実地研修の概要

○実地研修先

NPO法人青少年自立援助センター北斗寮

所在地:愛知県蒲郡市

- ・人口 81,854人(H25年)
- ・高齢化率 24.5(H22年)
- ・特徴 温泉4か所・テーマパーク・マリンレジャー
がある観光地／蒲郡みかん全国屈指／
伝統の三河織物／繊維ロープ製造業界で
は日本一を誇る

○研修期間

平成25年11月4日～15日(12日間)

報告事項

- 1 NPO法人青少年自立援助センター北斗寮の沿革・概要
- 2 実地研修の内容
- 3 実地研修から学んだこと
- 4 学びから活かしていきたいこと
- 5 研修前と後の自分自身の変化

NPO法人青少年自立援助センター北斗寮の沿革

- 平成8年 北斗寮設置 若者の自立援助を開始
- 平成14年 NPO法人の認証取得
- 平成19年 がまごおり若者サポートステーションを開設
- 平成20年 若者自立塾の認定
- 平成22年 市より若年継続教育支援事業を開始
- 平成23年 蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会
(指定支援機関の指定を受ける)

NPO法人青少年自立援助センター北斗寮の概要

1 北斗寮の運営

合宿方支援(通所方支援含む)による寮生活を軸に、相談・アウトリーチ／ボランティア活動(リサイクル資源回収・分別)／働く体験(ハウスクリーニング・ビルクリーニング・屋台)／学習サポート／保護者の会(2か月に1回)／スポーツ(ソフトボール等)／地域の交流イベントに参加

2 合宿型若者自立プログラム

6か月の合宿を通して、食事・清掃・洗濯など自立支援、模擬面接やジョブカードの作成など就労支援、コミュニケーションスキルの支援を行う

3 がまごおり若者サポートステーション

寮生以外にも幅広い視点で若者支援。相談・カウンセリング、仕事体験や就職活動セミナー、職業人講話、フリースペースの提供など

4 若者継続教育支援事業

蒲郡市の委託事業で、15～39歳までの無業の若者を対象に、若者サポートステーションにおいて学習、資格取得支援を行う

5 子ども若者育成支援推進法に基づく地域協議会

(支援指定機関)

市内の24団体とネットワークを形成して困難を有する子ども・若者を支援。

北斗寮による合宿型支援の特徴

相談・アウトリーチのスキルを活かして、家族との距離をおくことで生活環境を整え、社会参加を目指す場。

- 生活の基礎的なリズムを身につける
- 豊富な体験プログラム
- ボランティア活動
- 中間的な就労体験の機会の提供
- アルバイト
- 地域とのつながり

実地研修の内容

- 1 アウトリーチ同行訪問
- 2 北斗寮の多様な体験プログラムに参加
- 3 社会体験に参加
- 4 就労現場に参加
- 5 地域とのつながりを学ぶ

アウトリーチ同行訪問

ケース概略

母子世帯で、大学卒業後、5年間ひきこもり続ける若者へのアウトリーチ。食事のみリビングへ、以外は自室でひきこもる生活が続く。

- ・母親と面談後、本人と面談60分
- ・最近の話題提供・関係性を構築・情報提供→沈黙。
- ・母親へ息子との面談状況を報告。
- ・次回の展開を母親と共有
- ・息子見送りにくる。
- ・母親は外まで見送り。再度、状況確認。

アウトリーチのポイントを振り返る

- インテークとアセスメントを丁寧に行う
- 親との信頼関係を築く
- 親を介しての本人へのアプローチ→関係性の再構築（6ヶ月を目途）
- 本人へアプローチ（ゆるやかななかかわり）（1年を目途）
- 必要な情報提供を丁寧に届ける→イメージ化
- 本人の意欲の高まりのサインと動き出すタイミングをしっかりと後押し
- 家族の役割を示す→支援への参加意識
- 家族・本人が孤立しない支援